

日本医労連 2004年度 NO.1 2004. 11. 22

# 青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX：03-3875-6270

ニュースやネタは... [seinen@irouren.or.jp](mailto:seinen@irouren.or.jp) までお寄せください

**\*このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送っています。青年の会議で配るなど、多くの青年に渡るようご協力ください！**

## 第27回青年代表者会議・イン・熱海

11/13・14、第28回青年代表者会議(以下、青代：せいだい)を熱海で開催し、87名(6全国組合・34都道府県医労連)が参加しました。青年協議会はこの1年間、「目に見える、存在感のある青年部」を意識し、「あそび、まなび、たたかう」ことを通して青年部活動の活性化を目指し活動してきました。

私たちを取り巻く情勢は厳しく、改悪年金法、医療・福祉・社会保障の改悪攻撃、国公立・公的病院をめぐる状況、終わらないイラク戦争など、このような状況のなかで私たち青年がどこに夢や希望を持ったらよいのか、わかりにくくなっています。

そんななか、03年度総括では原則的にコツコツと活動してきた組織が前進していること、ブロックアクトを通して横のつながり、縦のつながりが強まり、青年部活動へ良い影響を与えたことなどがあげられました。

今回の青代では方針の柱を元に4つの分科会で議論を行い(方針は次ページで紹介しています)青年委員の進行で議論しました。分科会「青年部活動の活性化」では青年部活動の手引きも参考にしながら青年部の悩みについて。分科会「働きやすい職場にするために」では、「青年一言カード」を使って思いや悩みを交流、一緒に改善策を考えました。分科会「平和のために行動しよう」では「なぜ平和運動をしているのか?」を中心に、自分たちの思う平和やイラク戦争、憲法9条について語り明かしました。分科会「全国アクト成功のために」では、来年の全国アクトにむけて現地・北海道の実行委員の悩みや不安も出され、過去の実行委員が助言するなど、アクト成功に向け1つになれました。

今回の青代では、ただ参加するだけでなく語り、思いを伝え、悩みを共有する交流が活発に行われました。青年の力は計り知れません。この力を今後さらに発揮させるためにも、この会議の意図を忘れずに、厳しい情勢を多くの仲間と乗り越えて、夢と希望が持てる明るい青年を目指して頑張っていきたいです。

(濱村裕子青年委員☆岡山県医労連青年部部长・全医労長島支部)



## 青年協議会 2004年度方針の柱&やりきり目標は…

04年度方針では、遊んで、学んで、青年部活動を前進させよう、医療・福祉の充実、働きやすい職場にするために何かしよう(=たたかおう)、平和のために行動しよう、広範な青年と共同しよう、全国アクトを成功させよう、を5つの柱とします。また、今年度はやりきり目標も7つ設定して提起し、満場一致で承認されました。

いろいろありますが、全国の仲間と情報交換しあって、医療・福祉の充実と働きやすい職場、平和な社会の実現を目指して一緒に活動していきましょう。情報交換のために、この「青年協ニュース」も、どんどん活用してください～い!

4つの分科会や全体討論のなかみは、次号以降でをお伝えしていきます。

### 2004年度の「やりきり目標」

- ① 今年1年、仲良く!たのしく!げんきに!
- ② 被爆60周年国際署名「ABOLITION 署名」に取り組もう
- ③ 被爆者体験を直接聞く機会を最低一回つくろう
- ④ 少しずつでも憲法学習を進めよう
- ⑤ 春闘に向け、全国で「青年の一言カード」に取り組もう
- ⑥ 成果主義賃金について学ぼう
- ⑦ 全国アクトを成功させよう!全組織で実行委員会を結成しよう



工夫いっぱい

## 大阪医労連青年部定期大会。急速成果主義賃金学習も!

寒さも厳しくなってきましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。大会シーズンになり、大阪医労連青年部では10/20定期大会を開催し6組合19名の参加がありました。

大会では「前年の活動を目で見えて分かりやすくしたい。」とパワーポイントによる活動報告を行いました。議案書も見たい内容にしたいと写真を多用しました。アクト報告ではブロックアクトビデオ(大阪中心ビデオ)を作成し財政活動として販売しました。

議案に対する質疑として、「大阪医労連青年部に望むもの、またその活動」について出席された方々に意見を求めたところ、「タイムリーな学習企画が欲しい」との発言があり、そこから参加者全員討論会・成果主義賃金のミニ学習会が始まり、「初めて聞いた」「成果主義のメリットは?」「導入されたところではどうなったのか?」「聞いた話だけど・・・」と全員で意見交換をはじめ、成果主義賃金について学びたいという要求が出ている、と感じました。

役員が出ている組織からだけの大会参加となったのは残念でしたが、とても実りある青年部大会になったと感じ、これからも医療労働青年との交流の輪を広げ、深めようと決意し大会を閉会しました。

もちろん大会終了後は懇親会、大会に引き続き16名参加で遅くまで盛り上がりました。

(大阪医労連青年部部長 今井紘子さん・耳原病院労働組合)

